

道内の感染状況等について

【令和4年7月15日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
7/14	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	8.0% (179床) ↓	0.7% (1床) →	136.2人/週 (7124人/週) ↑	164.5人 (8603人) ↑	1.56 ↑	56.6% ↑	24.2% ↑
札幌市	2	12.0% (87床) ↑	0.0% (0床) →	167.4人/週 (3283人/週) ↑	194.6人 (3818人) ↑	1.60 ↑	58.7% ↑	28.4% ↑
札幌市を 除く地域	2	6.1% (92床) ↓	1.1% (1床) →	117.6人/週 (3841人/週) ↑	146.5人 (4785人) ↑	1.53 ↑	54.8% ↑	21.5% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※()は実数。

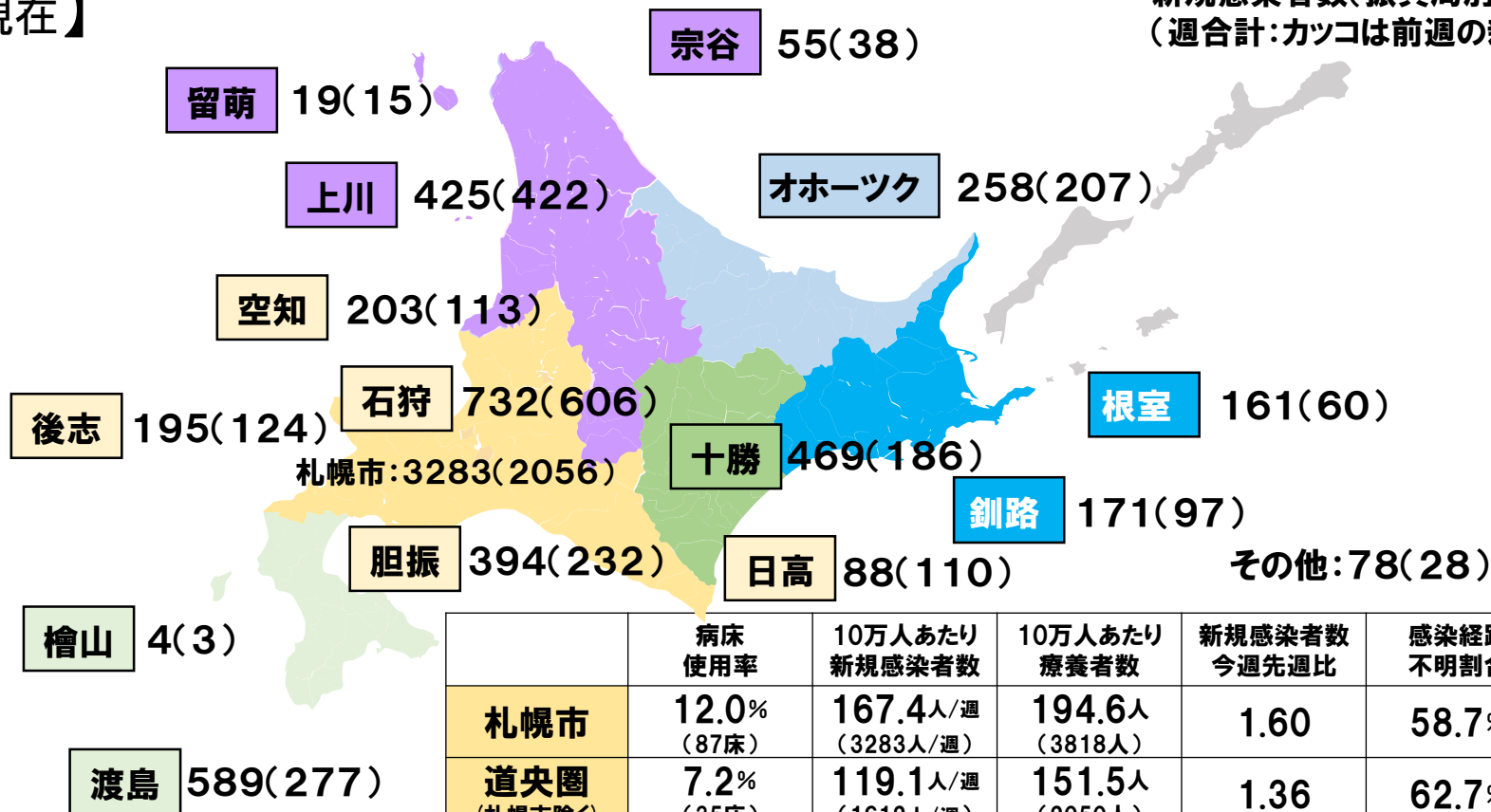
※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

地域における主な指標の状況

【7/14現在】

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



	病床 使用率	10万人あたり 新規感染者数	10万人あたり 療養者数	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
札幌市	12.0% (87床)	167.4人/週 (3283人/週)	194.6人 (3818人)	1.60	58.7%	28.4%
道央圏 (札幌市除く)	7.2% (35床)	119.1人/週 (1612人/週)	151.5人 (2050人)	1.36	62.7%	22.0%
道北圏	5.8% (18床)	84.5人/週 (499人/週)	122.8人 (725人)	1.05	42.3%	8.9%
道南圏	9.7% (22床)	141.8人/週 (593人/週)	184.9人 (773人)	2.12	41.7%	34.1%
十勝圏	7.3% (12床)	140.1人/週 (469人/週)	146.7人 (491人)	2.52	69.5%	73.2%
オホーツク圏	2.4% (3床)	94.3人/週 (258人/週)	120.9人 (331人)	1.25	43.8%	15.9%
釧路・根室圏	1.0% (2床)	111.8人/週 (332人/週)	139.7人 (415人)	2.11	42.5%	46.2%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

総評 ①

【医療提供体制】

○ 療養者数は、7月6日以降、増加傾向に転じ、人口10万人当たりで164.5人。病床使用率については、低い水準にはあるものの、増減を繰り返し、8.0%となっている。

【感染状況】

○ 新規感染者数は、人口10万人当たりでは136.2人。7月5日に先週比が1を上回って以降、10日連続で増加している。地域によっては、先週比が大きく増加している圏域もある。年代別では、引き続き30代以下の割合が約6割、60代以上が約1割の状況が継続している。国の専門家からは、新規感染者数は、すべての都道府県で増加しており、多くの地域で増加幅が大きくなり、急速に感染拡大している。今後引き続き感染者数の急速な増加の継続も懸念される、と指摘されている。

※参考:7月14日、新規感染者数先週比 東京2.21、大阪2.24、福岡2.24、沖縄1.57(北海道調べ)

○ 7月9日、旭川市において、BA.5系統が初めて確認され、7月15日には、道内でBA.2.12.1系統が初めて確認された。これまで道内では、BA.4系統は2件、BA.5系統は14件、BA.2.12.1系統は1件、合わせて17件が検出されている。国の専門家からは、BA.5系統については検出割合が増加しており、置き換わりが進んでいると指摘されており、引き続き、ゲノム解析により、その動向を監視していく。

総評 ②

※BA.4系統及びBA.5系統は、BA.2系統と比較して感染者増加の優位性が示唆されている。WHOレポートでは、重症度の上昇は見られないとしている。特にBA.5系統は感染者数がより増加しやすいことが示唆され、免疫逃避が懸念されるため、感染者数の増加要因となりうる。（令和4年7月13日新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード）

【今後の対策】

（■基本的対処方針のポイント 令和4年7月15日変更）

- ・「現下の感染拡大への対応については、新たな行動制限を行うのではなく社会経済活動をできる限り維持する」ことが位置づけられた。

（① 保健・医療提供体制の確保に向けた再確認等） ～別紙参照

- 感染者数の増加傾向という局面の変化に対応し、検査体制、病床確保や保健所体制などの保健・医療提供体制について、庁内の点検作業や関係者との協議などを通じ、再確認を行った。今後の状況変化にも対応できるよう、関係部局や医療関係者との連携強化に不断に取り組む。
- 社会経済活動を着実に進めていくため、第三者認証店や観光事業者等に対し、感染防止対策について、再確認を行うことを依頼した。今後も感染状況に応じて、必要な働きかけを機動的に行う。
- お盆の時期は、休診・休業となる診療・検査医療機関や無料検査登録事業所が多くなることから、関係団体とも連携し、体制の確保に向けた働きかけを行う。

(② 基本的な感染防止行動の徹底)

- 今後における感染の急拡大を防ぎ、社会経済活動との両立を図っていくためには、道民の皆様に基本的な感染防止行動を徹底していただくことが重要となる。このため、これまで取り組んできた3つの行動の実践やワクチンの接種促進を、一層、働きかけるとともに、人の活動が活発となる夏休みやお盆休みなどに向け、特に注意が必要となる場面や場所を示すなど、分かりやすく呼びかけを行う。
- 高齢者や重症化リスクの高い方や普段会わない方と会う場面、大勢での飲食の場面、人が多く集まる場所が多くなる。このため、こうした場面や場所においては、3つの行動に注意し、実践いただくよう、呼びかけていく。特に、高齢者や重症化リスクの高い方と会う際は、検査を受け、陰性確認するなど呼びかける。
- マスクについては、屋内で会話する際には着用し、屋外で熱中症のリスクが高まる場面では原則、はずすよう、注意を呼びかける。
- 気温が上昇し、冷房の使用が多くなることから、十分な換気について呼びかけていく。
- 夏休み中における児童・生徒の家庭での体調管理の徹底についても、呼びかけを行う。

総 評 ④

(③ ワクチン接種の促進)

- また、感染が拡大傾向にある中、ワクチン接種により重症化予防の効果などが回復するとされていることから、高齢者の4回目接種や若年層の3回目接種を積極的に検討いただけるよう、働きかける。
- ノババックスワクチンについては、7月24日から8月28日までの間、北海道ワクチン接種センターにおける接種回数を1日240回に拡大し、実施する。また、既に北見市や函館市で接種を開始しているほか、今後、旭川市や苫小牧市、釧路市も開始することとしており、引き続き、より多くの市町村で接種が受けられるよう、調整を進める。
- 4回目接種については、北海道ワクチン接種センターにおける集団接種や、高齢者施設における接種の促進を図るほか、多様な媒体を活用した広報を進めるなど、関係団体とも連携を図りながら、市町村への支援に努める。また、3回目接種については、道の接種センターの活用を図るほか、大学生のワクチン接種に関する意向を把握するなど、若年層の接種促進に向けた取組を進める。
- 4回目接種については、接種対象者を医療従事者や高齢者施設職員にも拡大する方向性が示されたことから、今後、決定され次第、速やかに対応できるよう準備を進める。

(④ 検査の活用)

- 無料検査事業のうち、感染拡大傾向時の一般検査事業については、8月末まで期間を延長することとする。また、旅行や帰省など移動が活発となるお盆休みに向け、主要な交通拠点での検査体制の確保や効果的な広報について検討を進める。
- また、感染が拡大傾向にあることから、高齢者施設、保育所等の頻回検査の実施に向け、準備を進める。

入院患者数と病床使用率（全道）

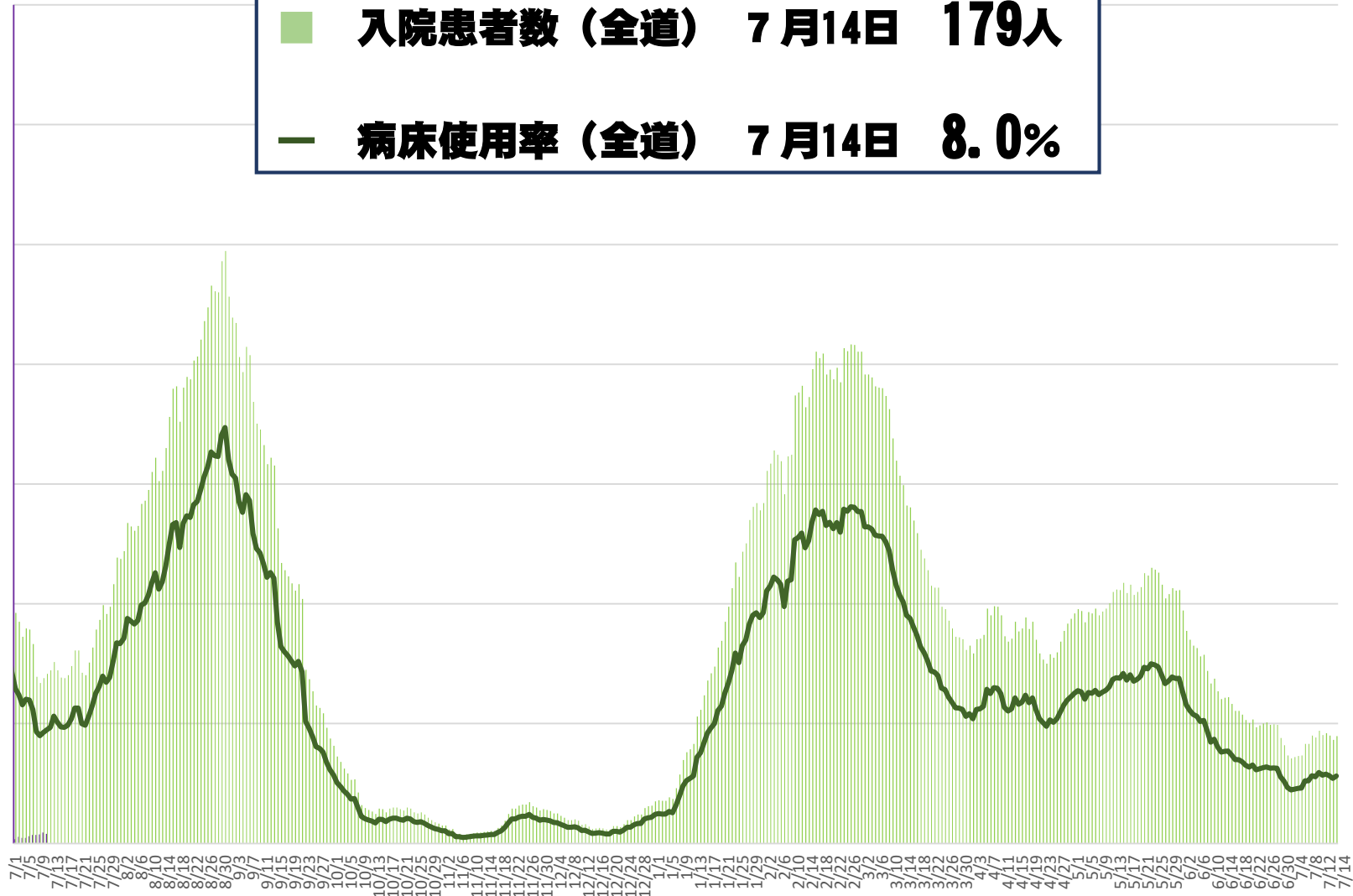
入院患者数（人）

病床使用率

1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

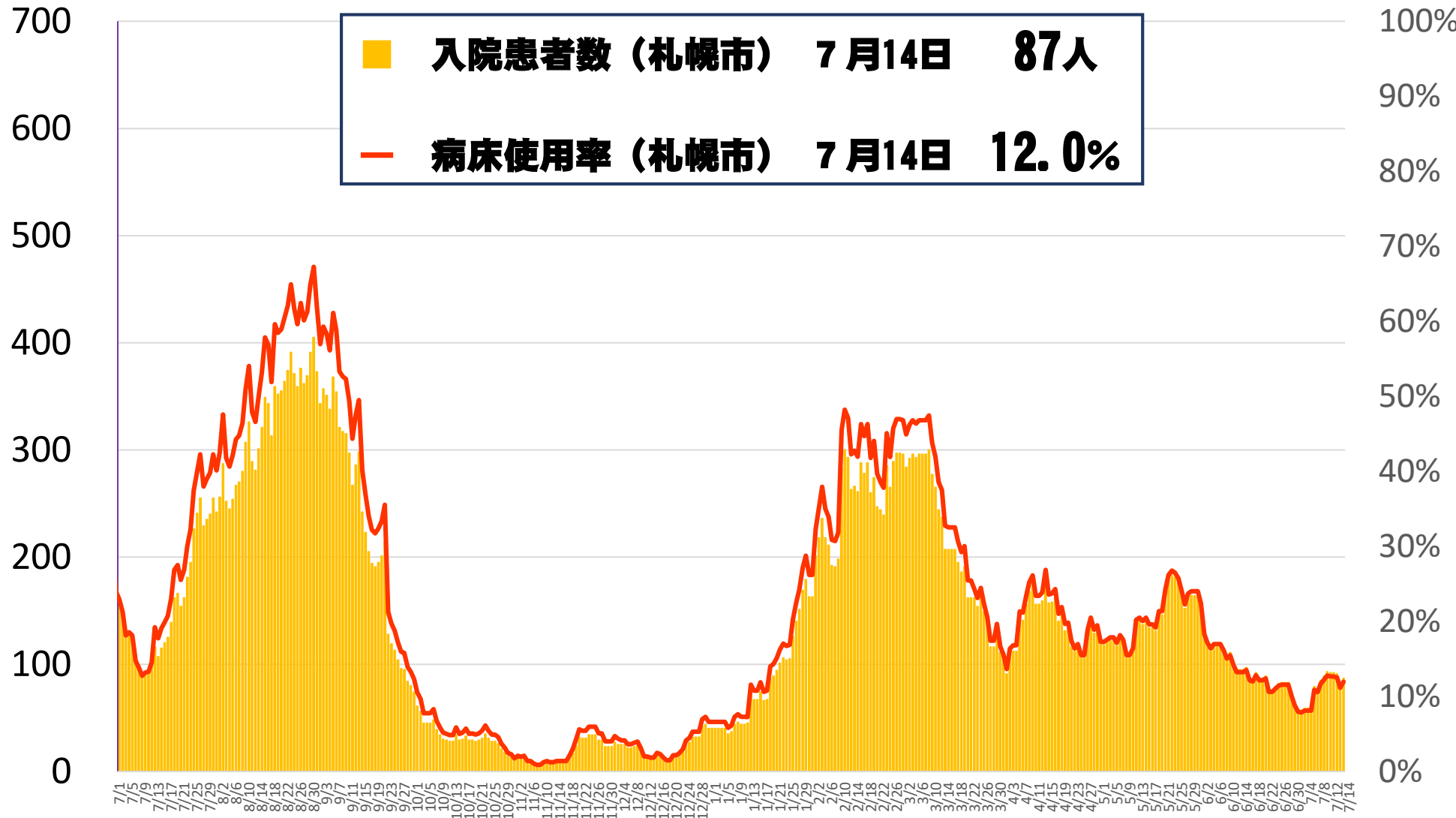
■ 入院患者数（全道） 7月14日 179人
— 病床使用率（全道） 7月14日 8.0%



入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

700
600
500
400
300
200
100
0

■ 入院患者数（札幌市を除く地域） 7月14日 92人
— 病床使用率（札幌市を除く地域） 7月14日 6.1%

病床使用率

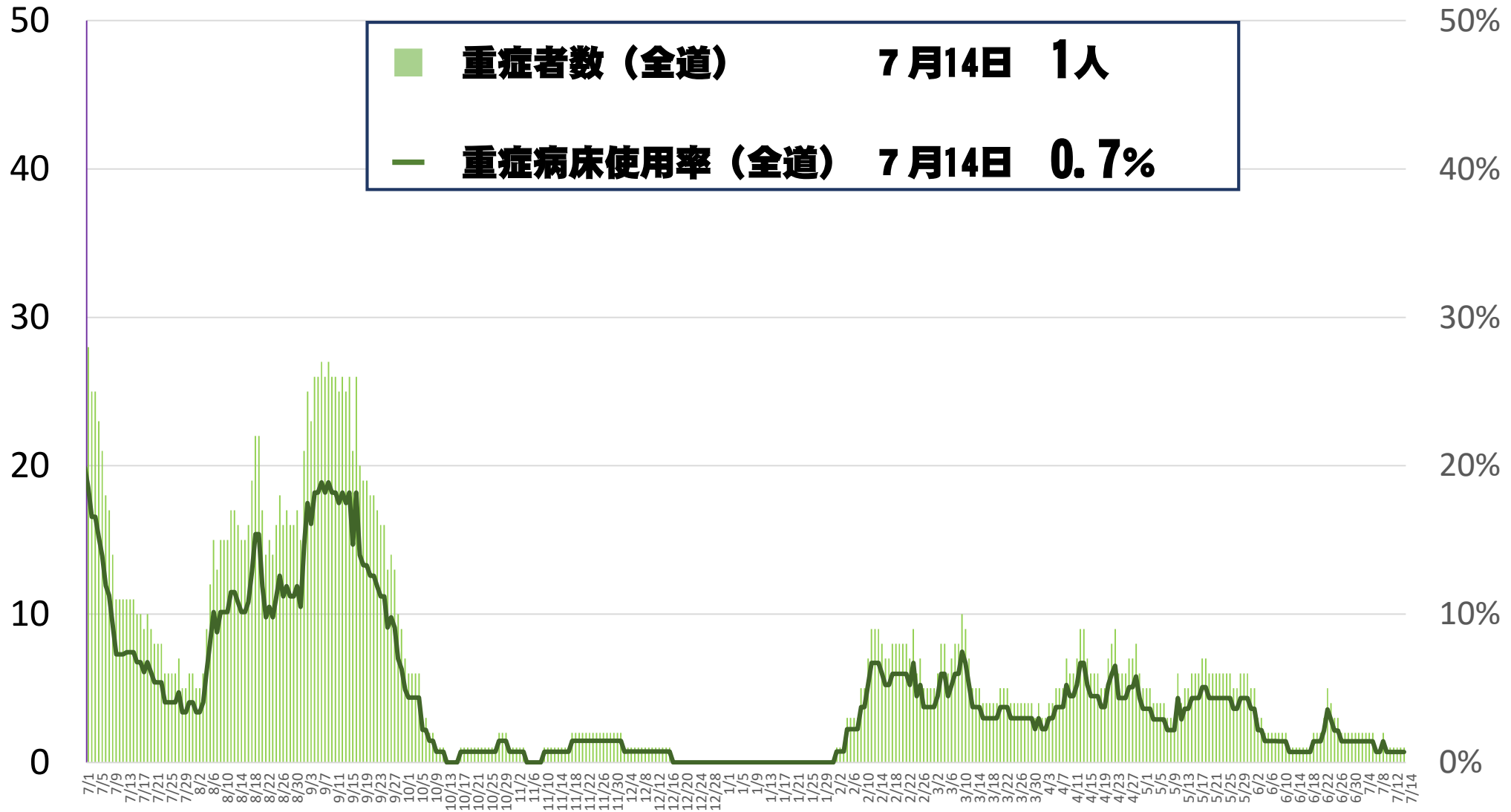
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

7/1 7/5 7/9 7/13 7/17 7/21 7/25 7/29 8/2 8/6 8/10 8/14 8/18 8/22 8/26 8/30 9/3 9/7 9/11 9/15 9/19 9/23 9/27 10/1 10/5 10/9 10/13 10/17 10/21 10/25 10/29 11/2 11/6 11/10 11/14 11/18 11/22 11/26 11/30 12/4 12/8 12/12 12/16 12/20 12/24 12/28 1/1 1/5 1/9 1/13 1/17 1/21 1/25 1/29 2/2 2/6 2/10 2/14 2/18 2/22 2/26 3/2 3/6 3/10 3/14 3/18 3/22 3/26 3/30 4/3 4/7 4/11 4/15 4/19 4/23 4/27 5/1 5/5 5/9 5/13 5/17 5/21 5/25 5/29 6/2 6/6 6/10 6/14 6/18 6/22 6/26 6/30 7/4 7/8 7/12 7/14

重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

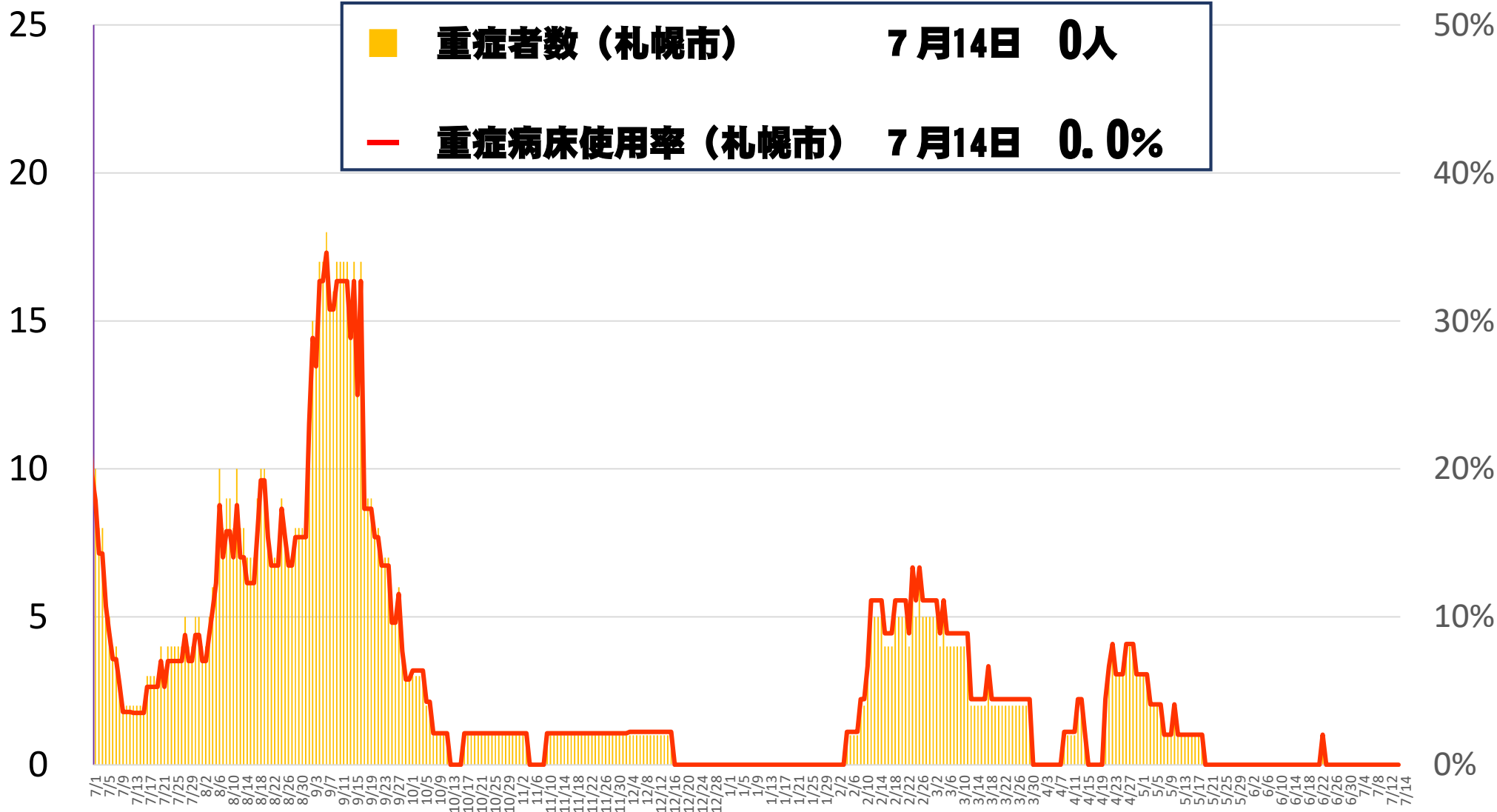
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

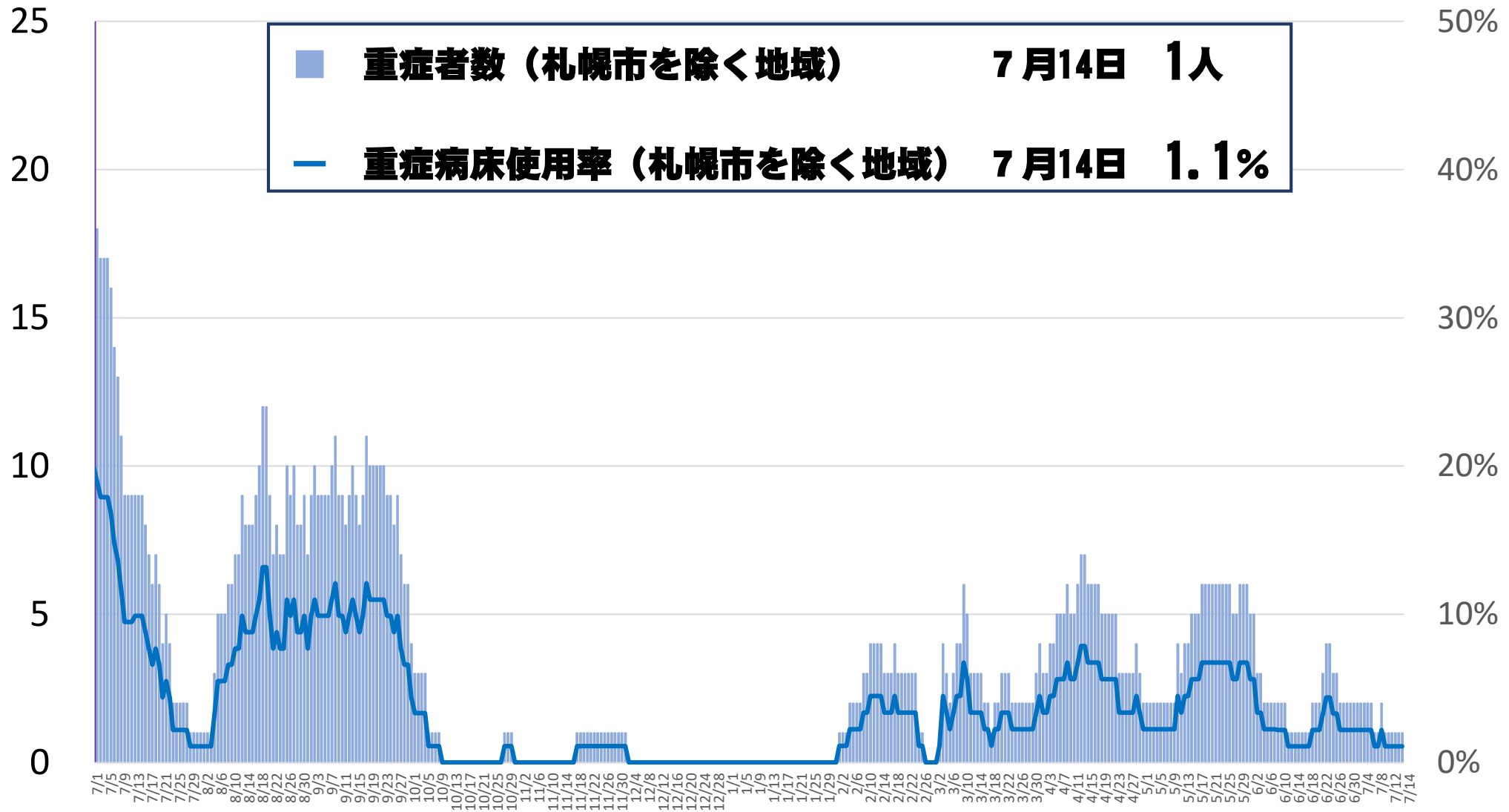
病床使用率



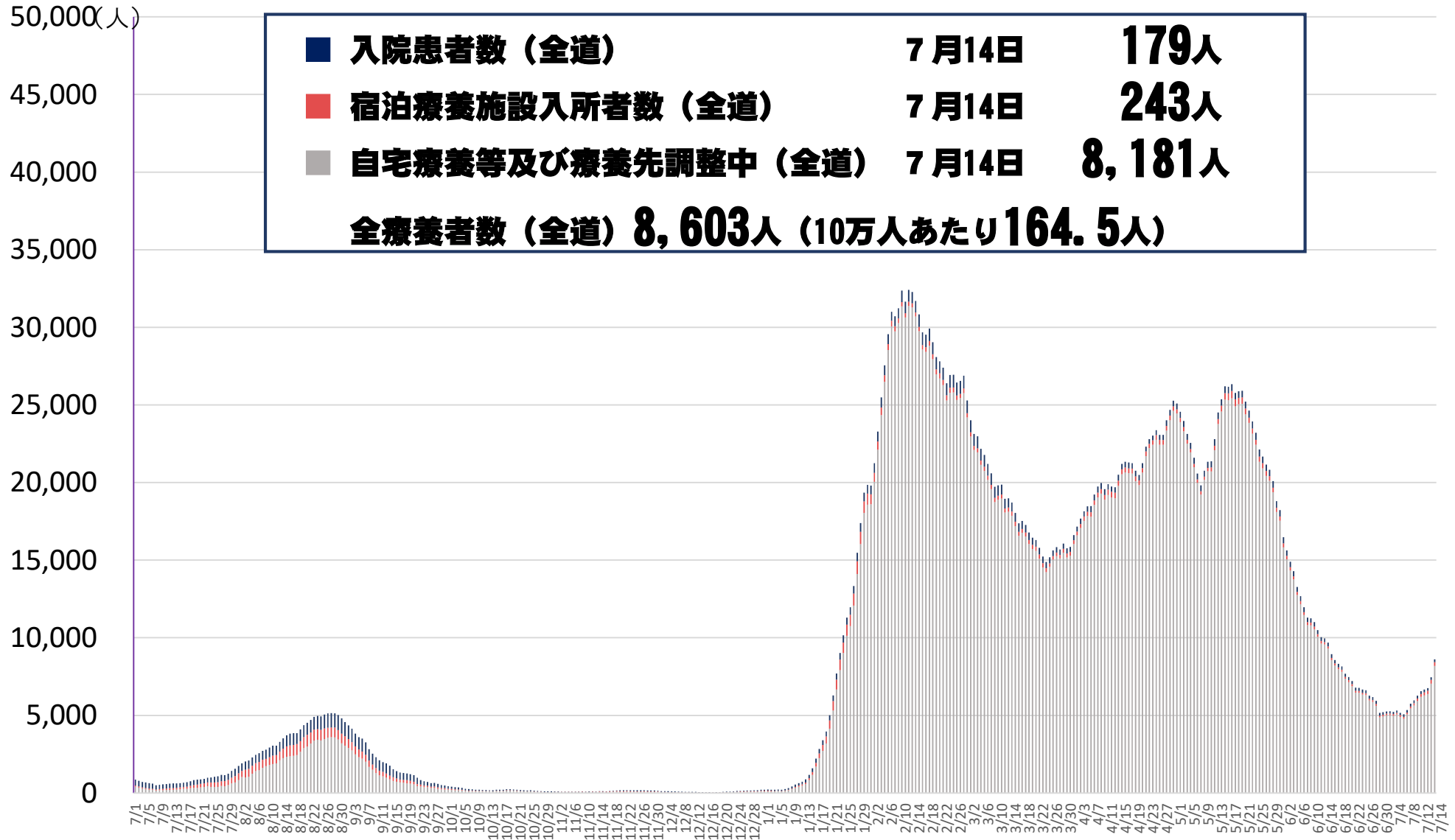
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

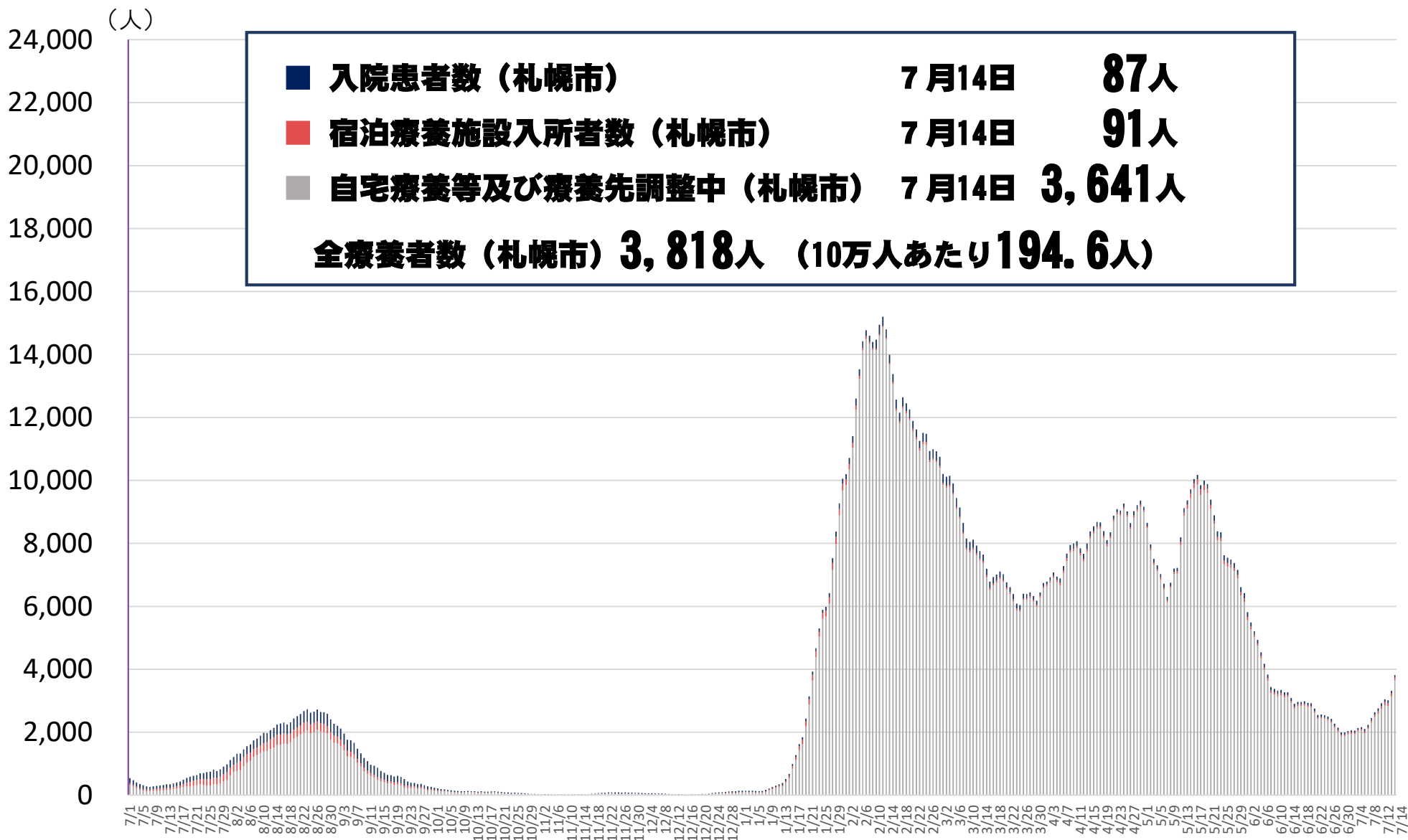
病床使用率



療養者数（全道）

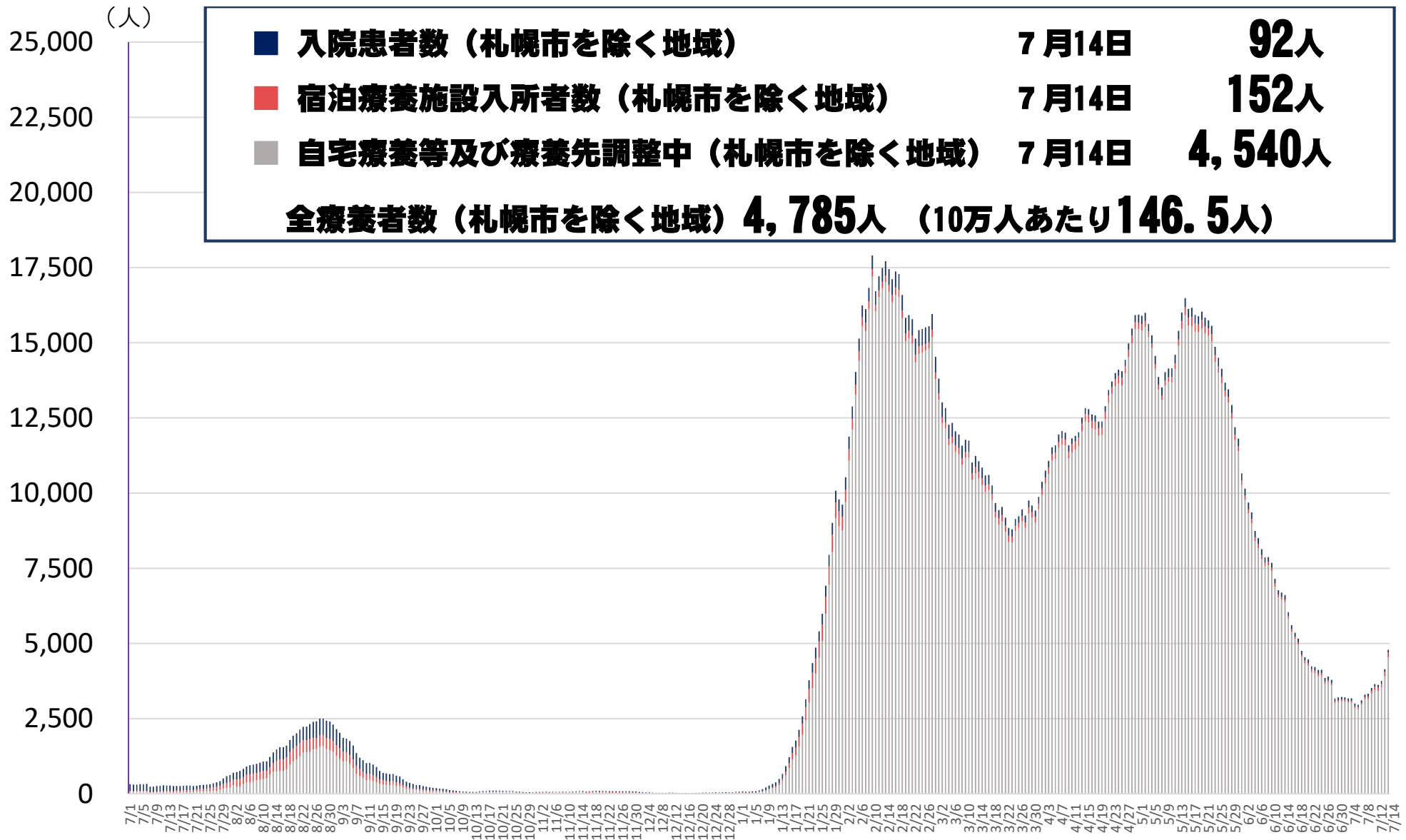


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）

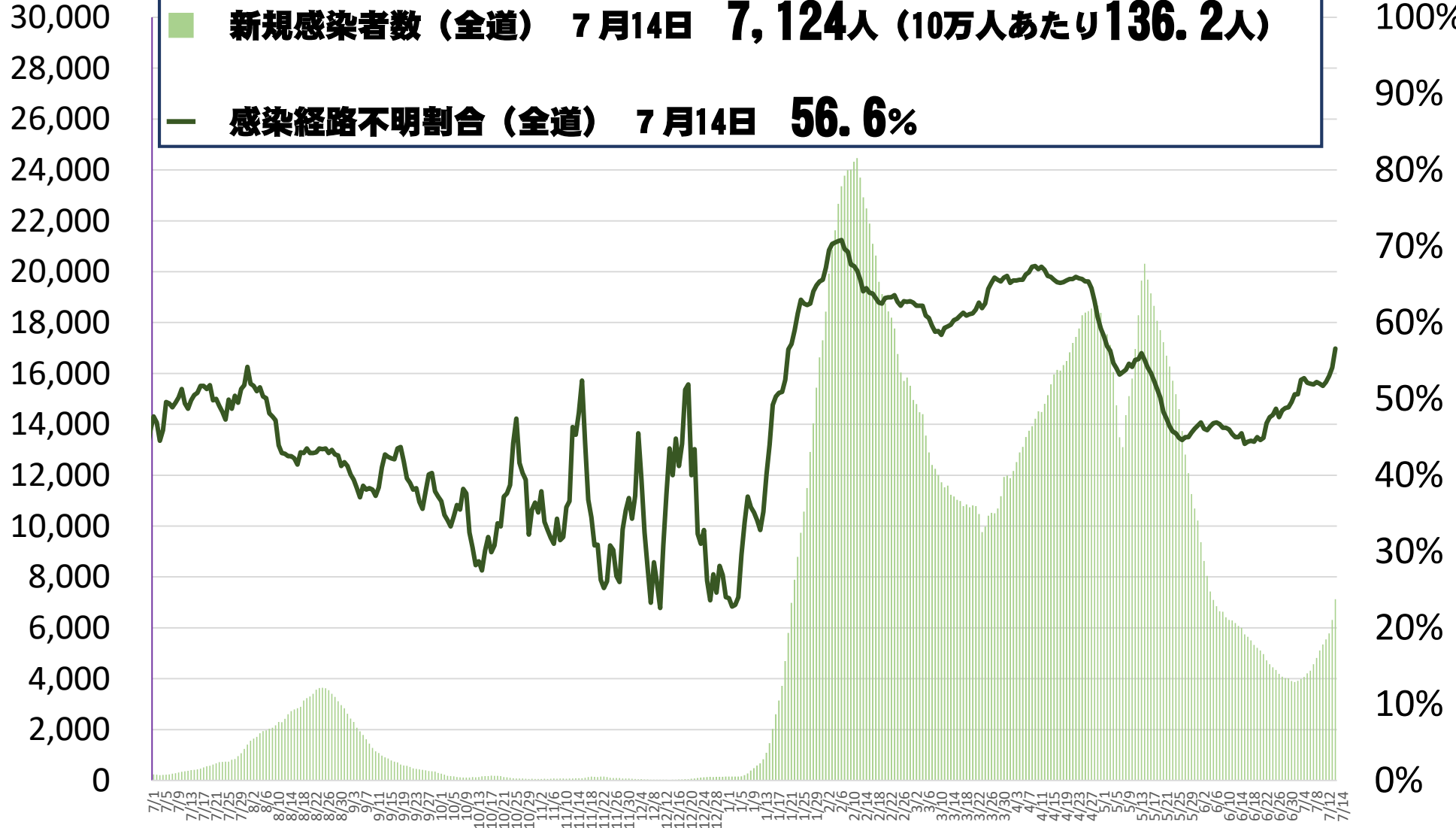


※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数(人)
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)



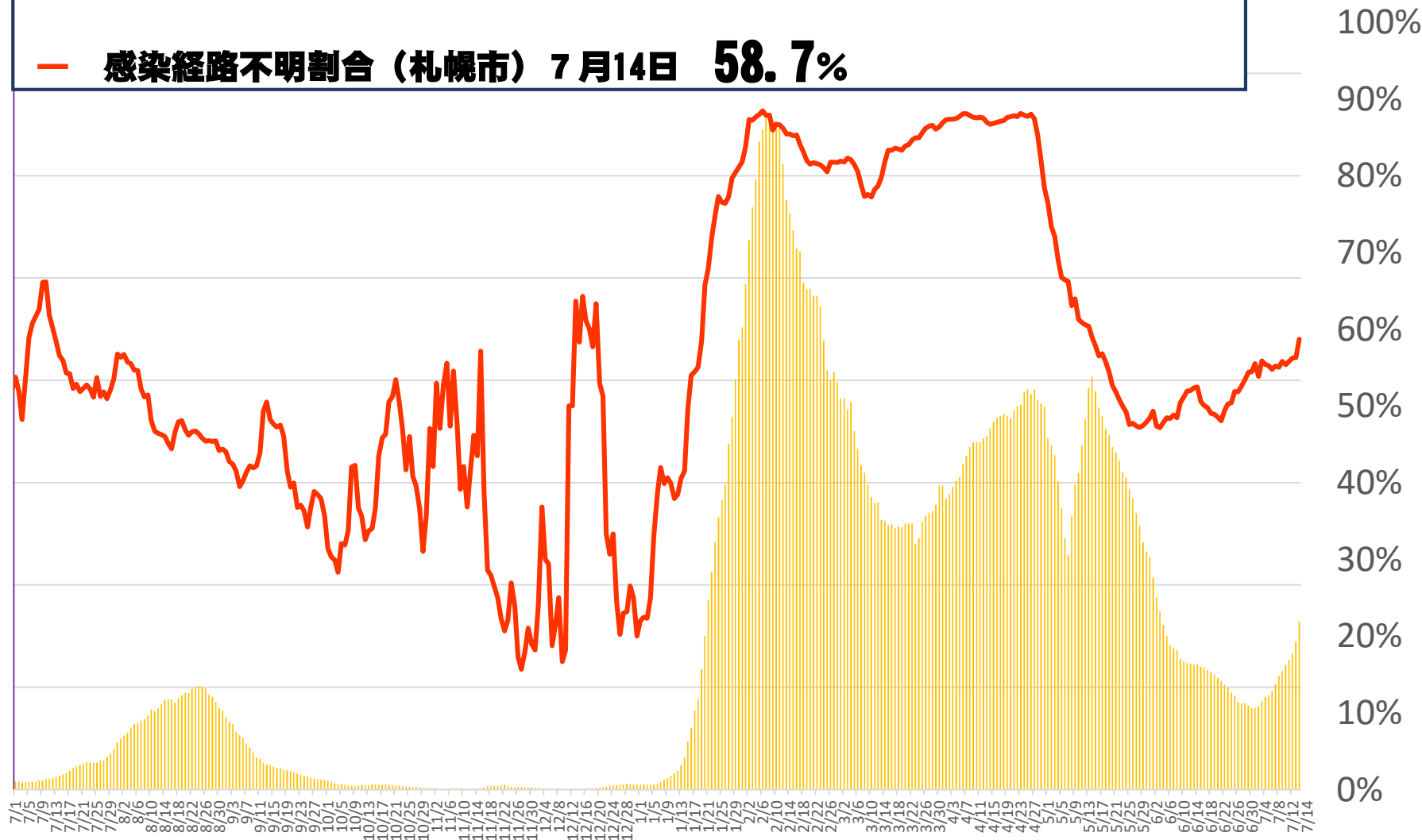
新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市）7月14日 3,283人（10万人あたり167.4人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）7月14日 58.7%**

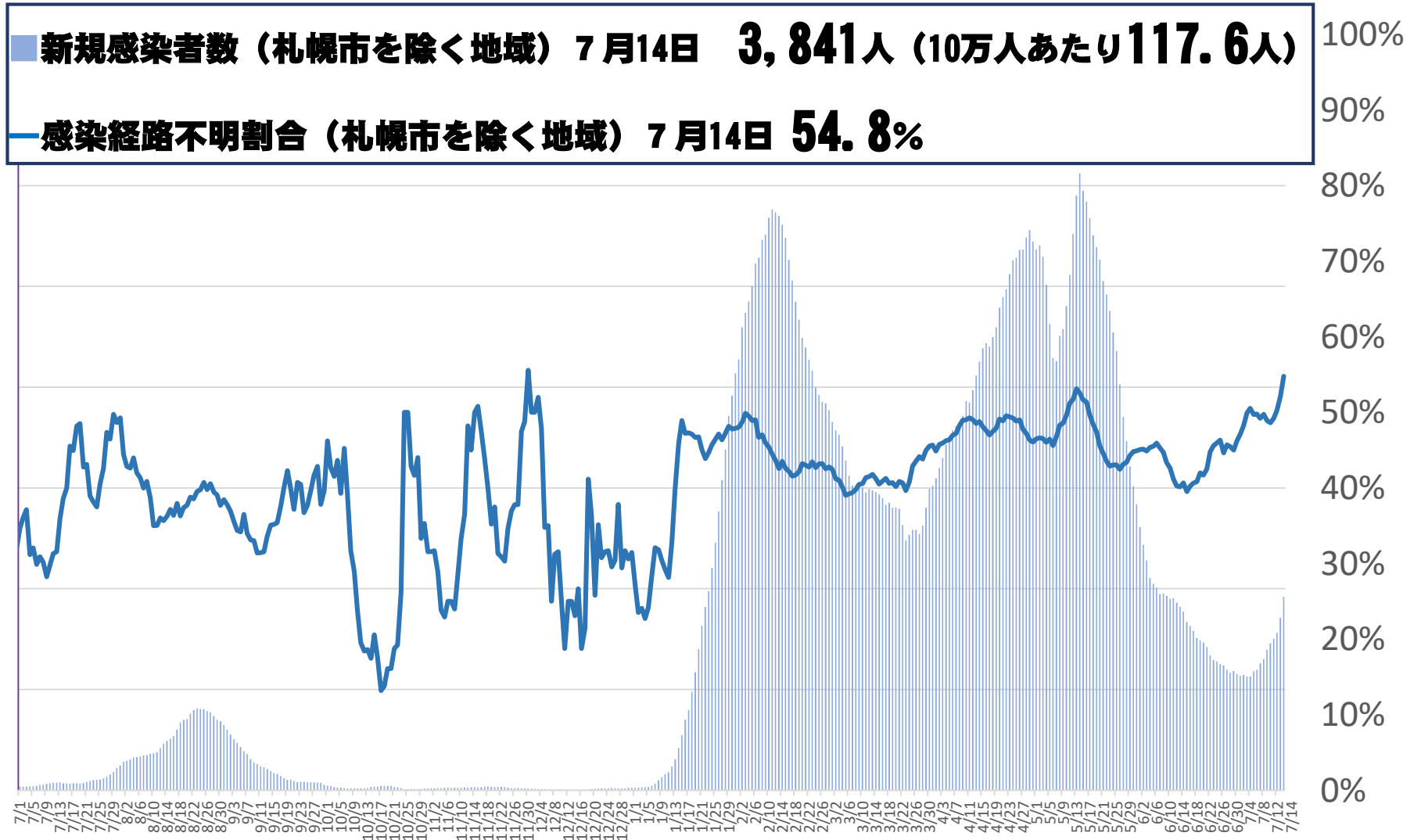
感染経路不明割合
(7日間平均)



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

新規感染者数(人)
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)



検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

80,000

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

■ **検査数（全道）** 7月14日 **29,436人**
— **陽性率（全道）** 7月14日 **24.2%**

陽性率
（7日間平均）
100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4 8/8 8/12 8/16 8/20 8/24 8/28 9/1 9/5 9/9 9/13 9/17 9/21 9/25 9/29 10/3 10/7 10/11 10/15 10/19 10/23 10/27 10/31 11/4 11/8 11/12 11/16 11/20 11/24 11/28 12/2 12/6 12/10 12/14 12/18 12/22 12/26 12/30 1/3 1/7 1/11 1/15 1/19 1/23 1/27 1/31 2/4 2/8 2/12 2/16 2/20 2/24 2/28 3/2 3/6 3/10 3/14 3/18 3/22 3/26 3/30 4/3 4/7 4/11 4/15 4/19 4/23 4/27 5/1 5/5 5/9 5/13 5/17 5/21 5/25 5/29 6/2 6/6 6/10 6/14 6/18 6/22 6/26 6/30 7/4 7/8 7/12 7/14

検査数と陽性率（札幌市）

検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

50,000

100%

45,000

90%

40,000

80%

35,000

70%

30,000

60%

25,000

50%

20,000

40%

15,000

30%

10,000

20%

5,000

10%

0

0%

■ **検査数（札幌市）** 7月14日 **11,541人**
— **陽性率（札幌市）** 7月14日 **28.4%**

7/5 7/9 7/13 7/17 7/21 7/25 7/29 8/2 8/6 8/10 8/14 8/18 8/22 8/26 8/30 9/3 9/7 9/11 9/15 9/19 9/23 9/27 10/1 10/5 10/9 10/13 10/17 10/21 10/25 10/29 11/2 11/6 11/10 11/14 11/18 11/22 11/26 11/30 12/4 12/8 12/12 12/16 12/20 12/24 12/28 1/1 1/5 1/9 1/13 1/17 1/21 1/25 1/29 2/2 2/6 2/10 2/14 2/18 2/22 2/26 2/29 3/3 3/7 3/10 3/14 3/18 3/22 3/26 3/30 4/3 4/7 4/11 4/15 4/19 4/23 4/27 4/30 5/4 5/8 5/12 5/16 5/20 5/24 5/28 6/1 6/5 6/9 6/13 6/17 6/21 6/25 6/29 7/3 7/7 7/11 7/14

検査数と陽性率（札幌市を除く地域）

検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

50,000

45,000

40,000

35,000

30,000

25,000

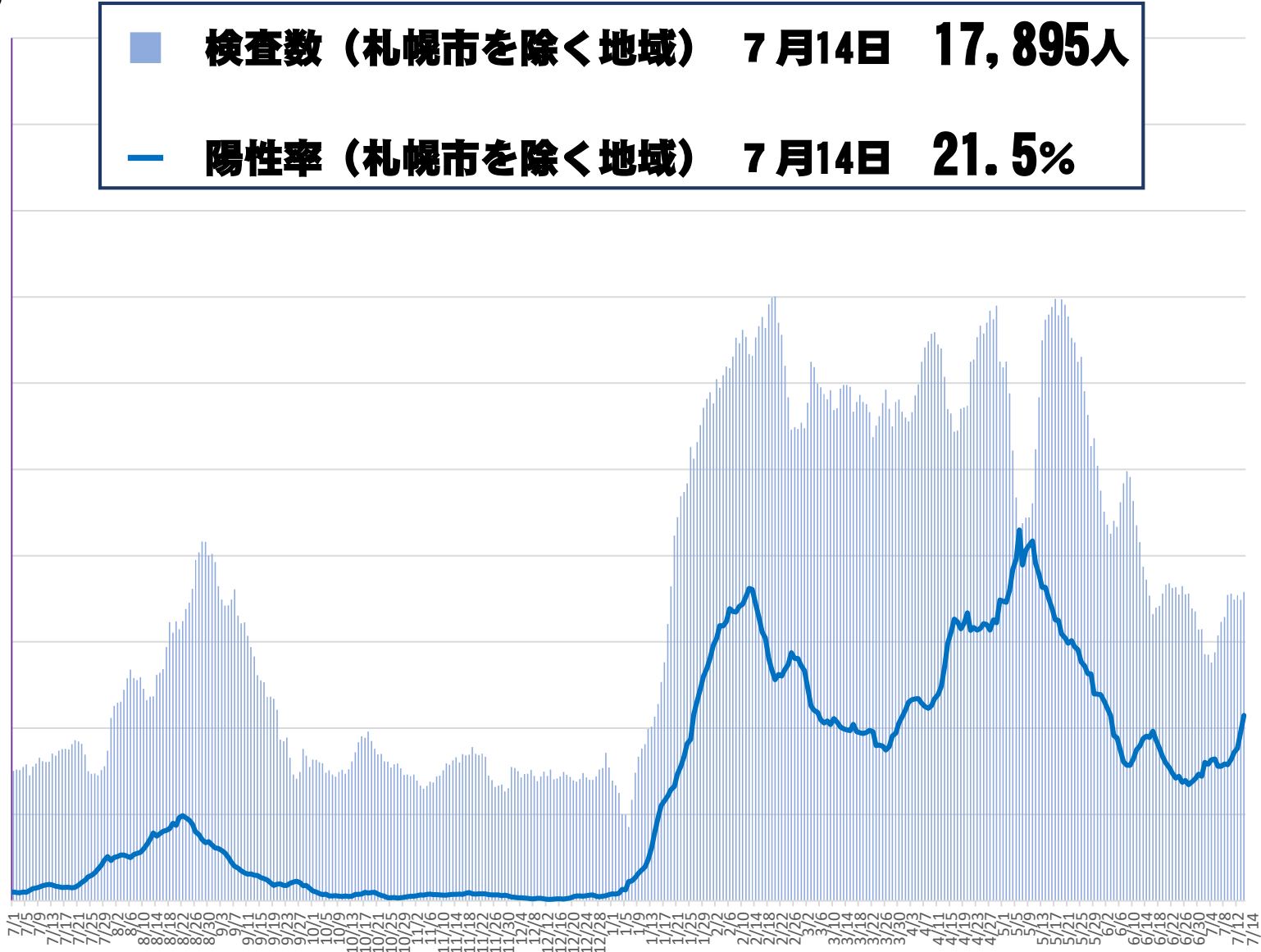
20,000

15,000

10,000

5,000

0



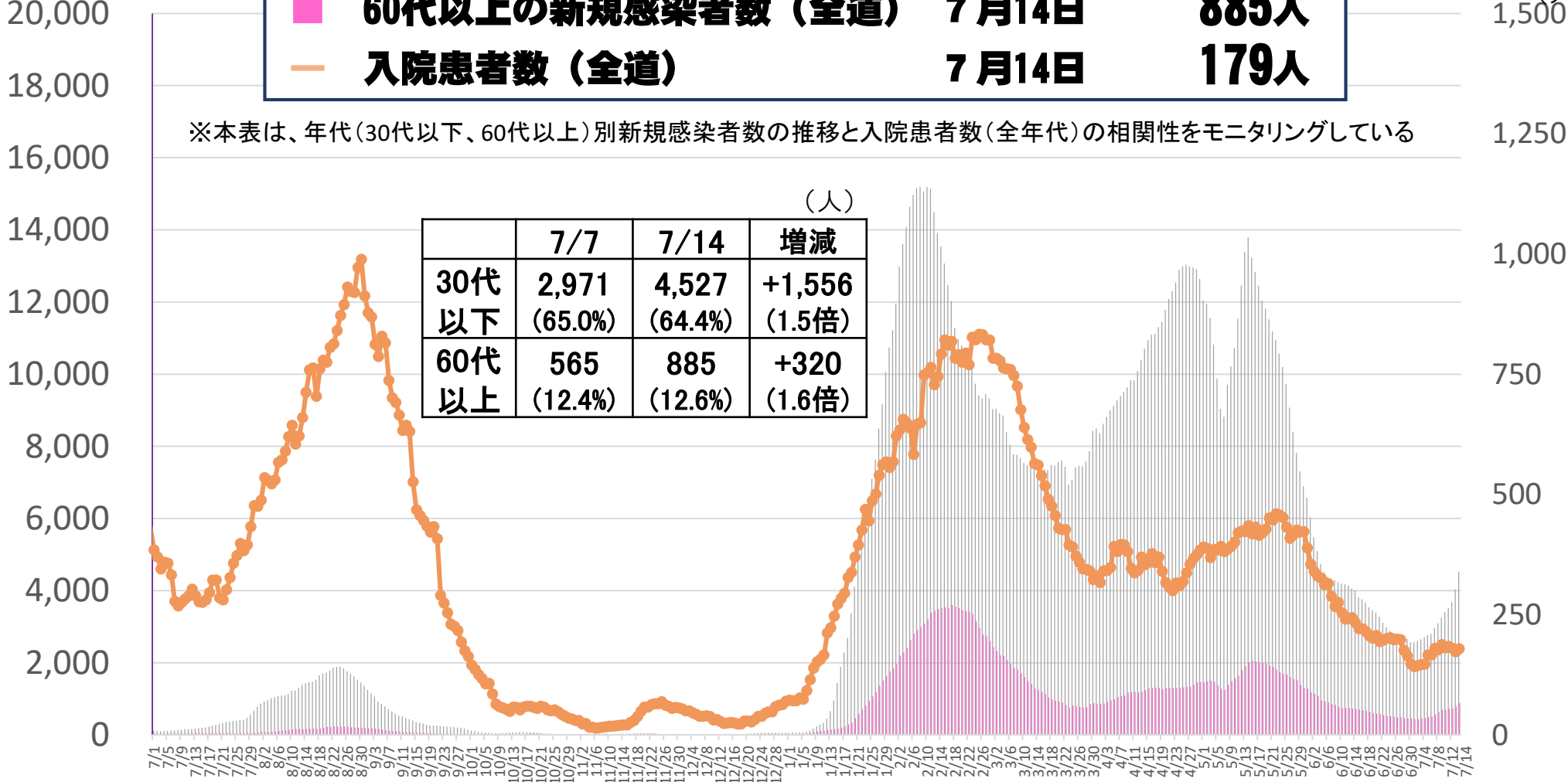
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

■ **30代以下の新規感染者数(全道)** 7月14日 **4,527人**
 ■ **60代以上の新規感染者数(全道)** 7月14日 **885人**
 — **入院患者数(全道)** 7月14日 **179人**

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

■ **30代以下の新規感染者数(札幌市)**

7月14日

2,148人

■ **60代以上の新規感染者数(札幌市)**

7月14日

363人

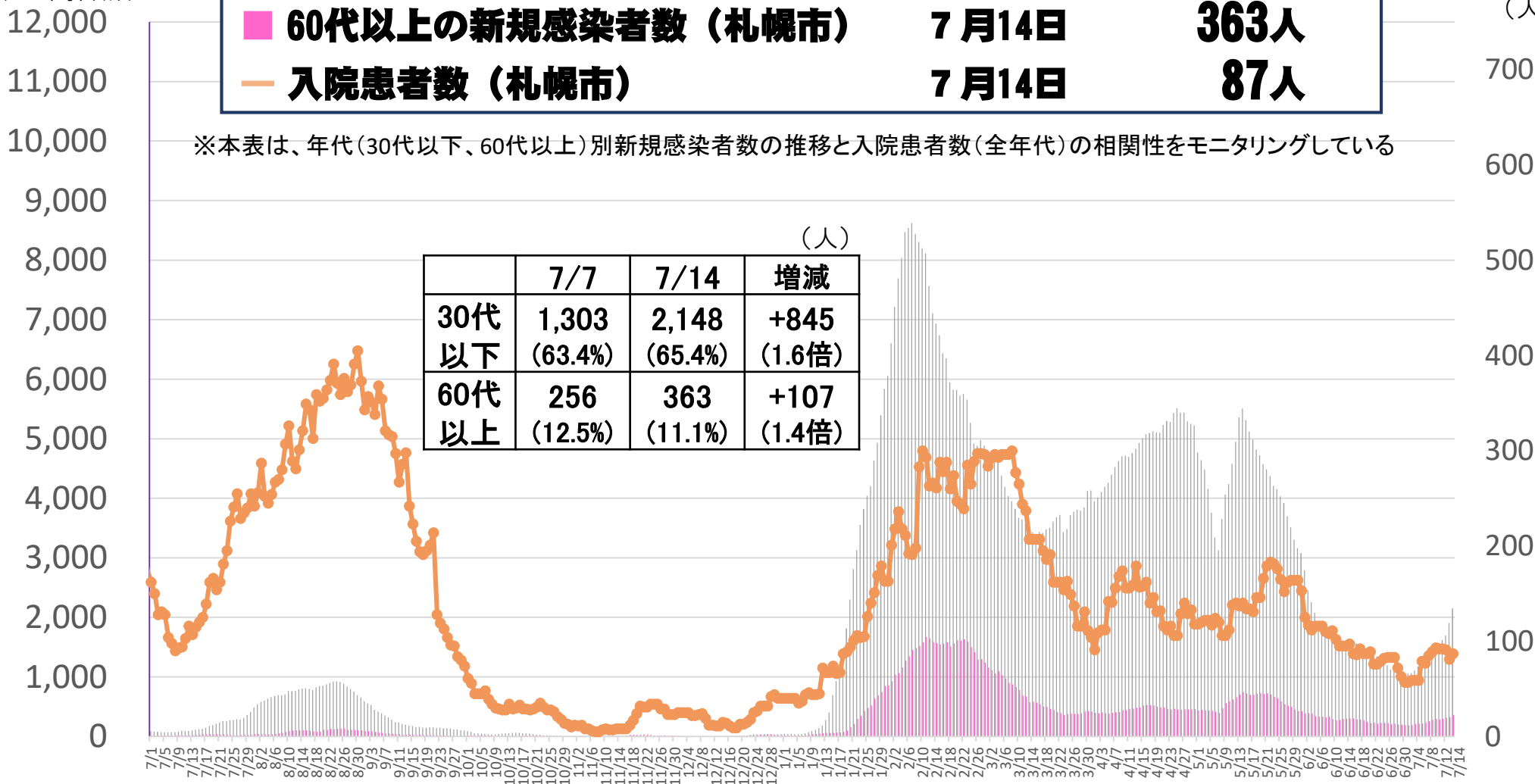
— **入院患者数(札幌市)**

7月14日

87人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

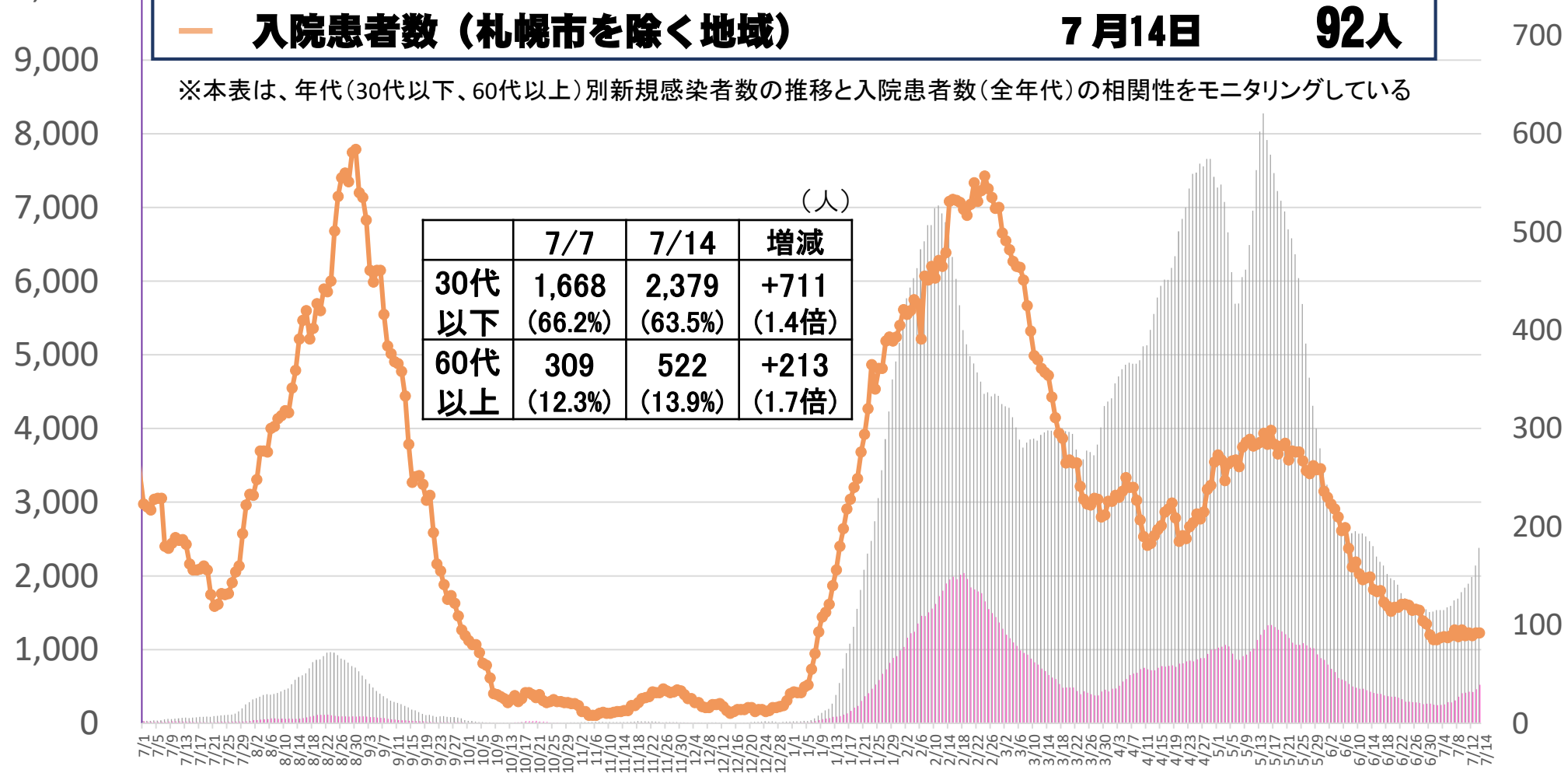
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数
(7日間合計)
10,000(人)

■	30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	7月14日	2,379人
■	60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	7月14日	522人
—	入院患者数 (札幌市を除く地域)	7月14日	92人

入院患者数
(人)

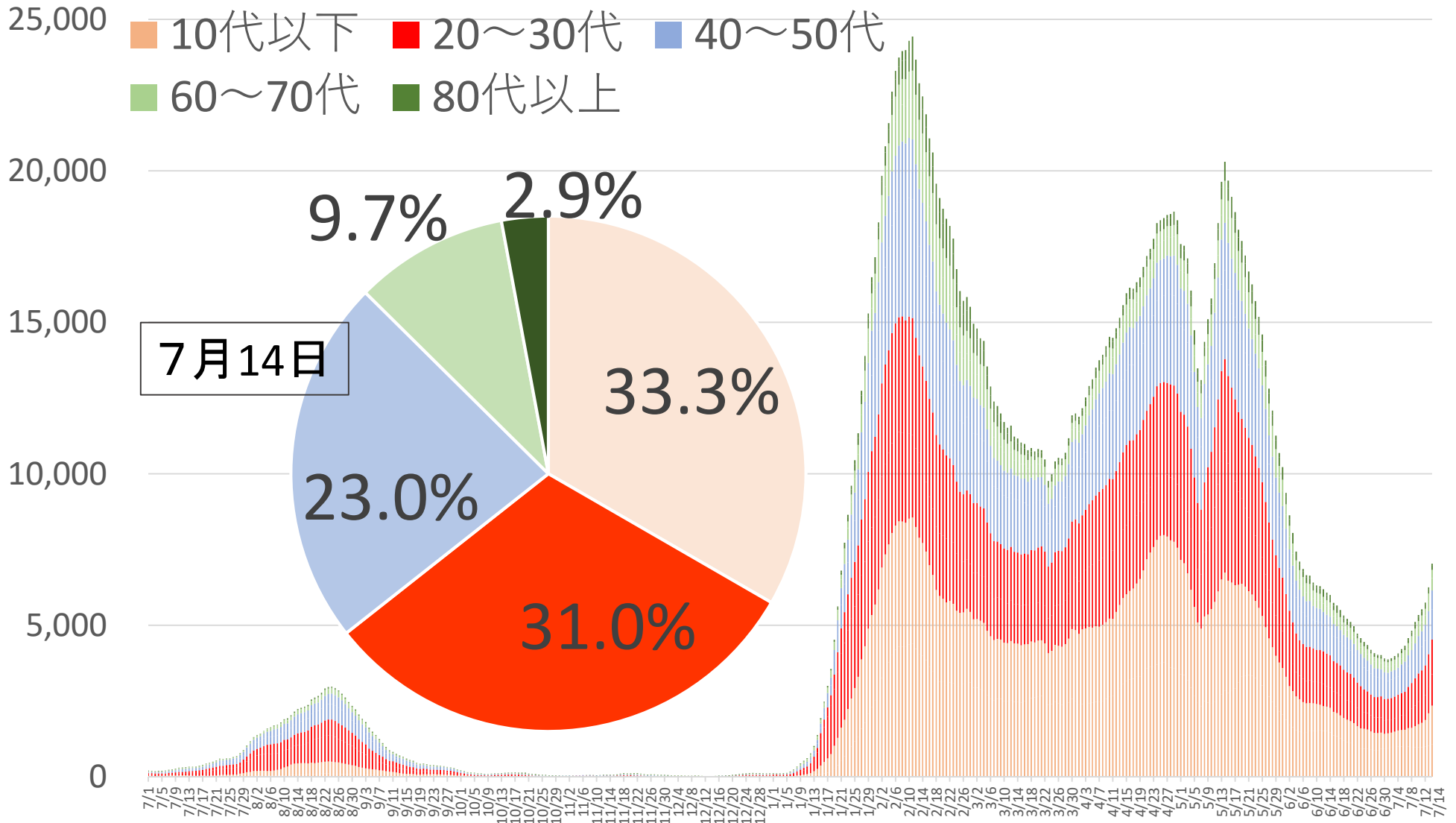
※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	6/24~30			7/1~7			7/8~14		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	7件 (70人)	4件 (28人)	3件 (42人)	11件 (160人)	4件 (84人)	7件 (76人)	11件 (110人)	4件 (28人)	7件 (82人)
札幌市	—	—	—	4件 (27人)	2件 (13人)	2件 (14人)	2件 (16人)	—	2件 (16人)
札幌市を 除く地域	7件 (70人)	4件 (28人)	3件 (42人)	7件 (133人)	2件 (71人)	5件 (62人)	9件 (94人)	4件 (28人)	5件 (66人)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。7/13現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,371,630	64.5%
うち65歳以上	1,502,107	90.0%
(参考) 全国	78,601,015	62.1%
うち65歳以上	32,209,986	90.1%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,322,332	82.7%	4,258,772	81.5%
うち小児	55,477	20.3%	50,762	18.5%
(参考) 全国	103,791,881	81.9%	102,389,371	80.8%
うち小児	1,318,099	17.8%	1,218,625	16.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。7/13現在)

<3回目接種の状況>

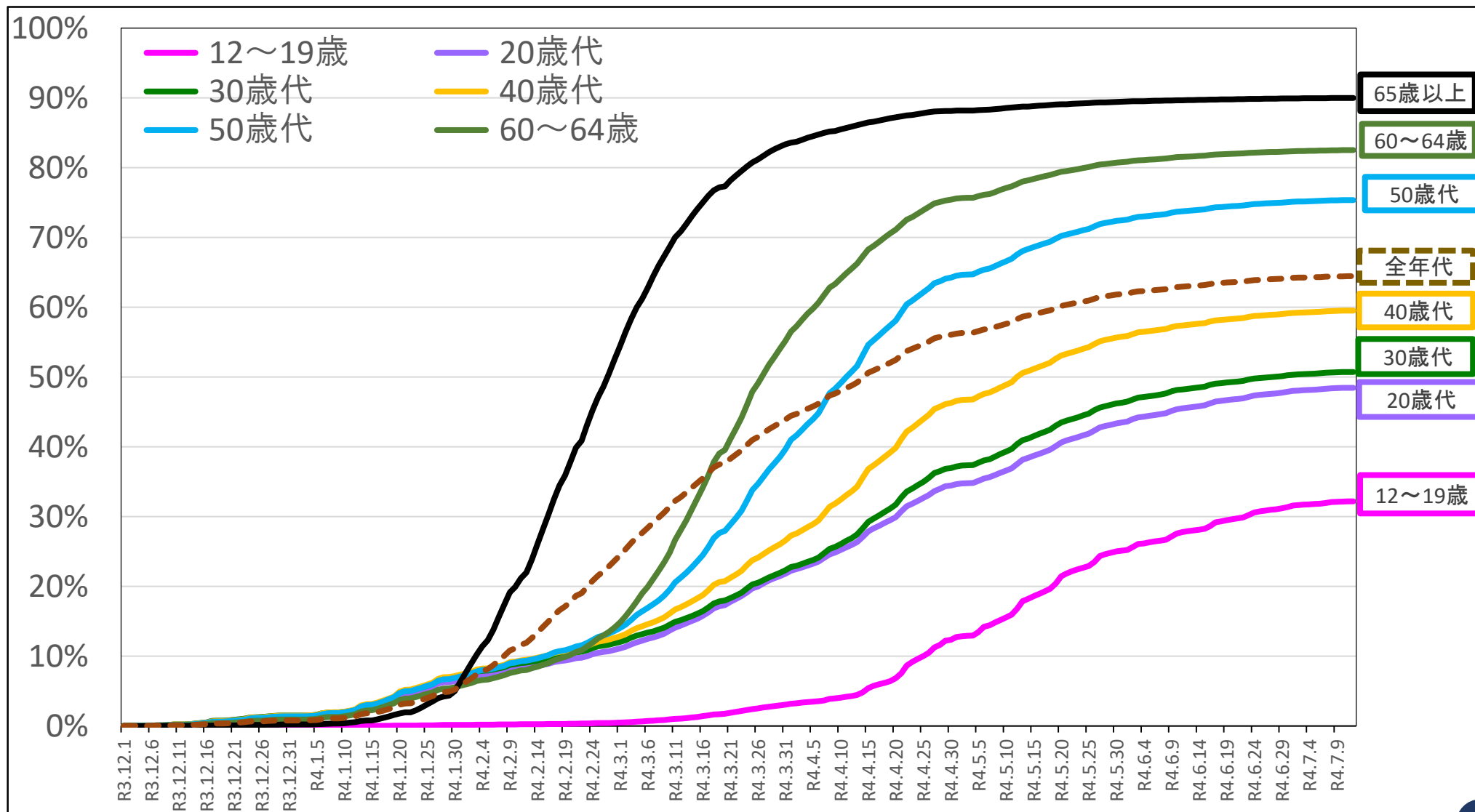
区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率 (7/10現在)
		3回目	3回目
12～19歳	344,145 (6.6%)	32.4%	31.6%
20～29歳	461,395 (8.8%)	48.6%	46.4%
30～39歳	545,877 (10.4%)	50.8%	50.1%
40～49歳	733,566 (14.0%)	59.6%	59.1%
50～59歳	697,270 (13.3%)	75.4%	76.5%
60～64歳	338,612 (6.5%)	82.6%	83.1%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	90.0%	90.0%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。7/13現在)②

<3回目接種の状況>



新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー社製 (小児用)	ファイザー社製	モデルナ社製	武田社製 (ノババックス)	アストラゼネカ 社製
ワクチンの種類	m-RNA			組換えタンパク	ウイルスベクター
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28~84日間隔)
対象者	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	18歳以上	原則40歳以上
第一期追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	—
対象者	—	12歳以上	18歳以上	18歳以上	—
第二期追加接種 (4回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	—	—
対象者	—	・60歳以上 ・基礎疾患等	・60歳以上 ・基礎疾患等	—	—
接種主体	市町村	市町村	北海道(追加接種のみ) 市町村	北海道 市町村	—

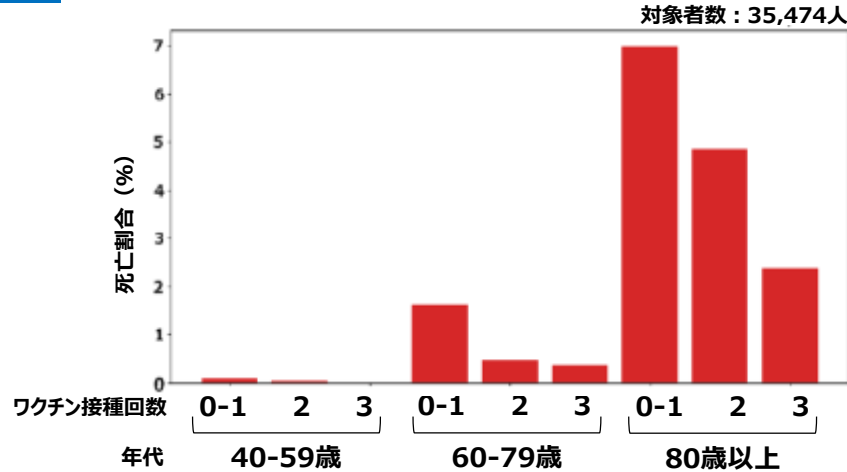
※ □は、令和4年5月25日付けで、予防接種法政省令の改正箇所

※ 接種主体は現在実施中のみ掲載

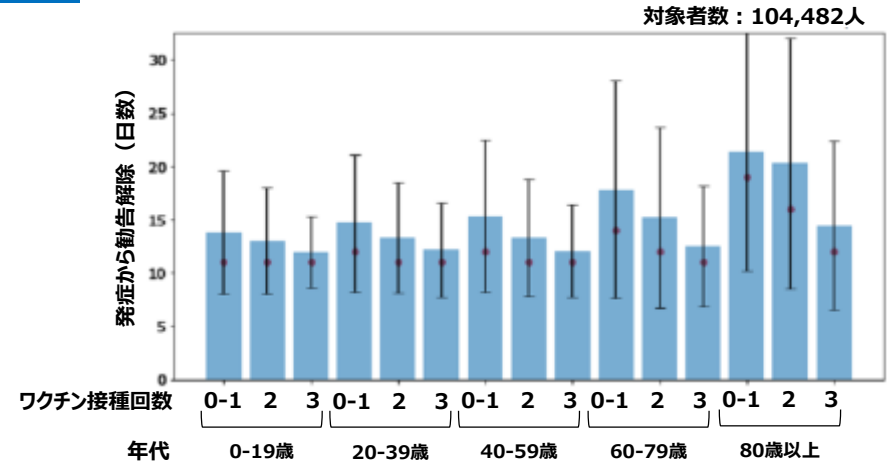
新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 ワクチン接種の効果について(道立保健所管内の陽性者情報の分析)

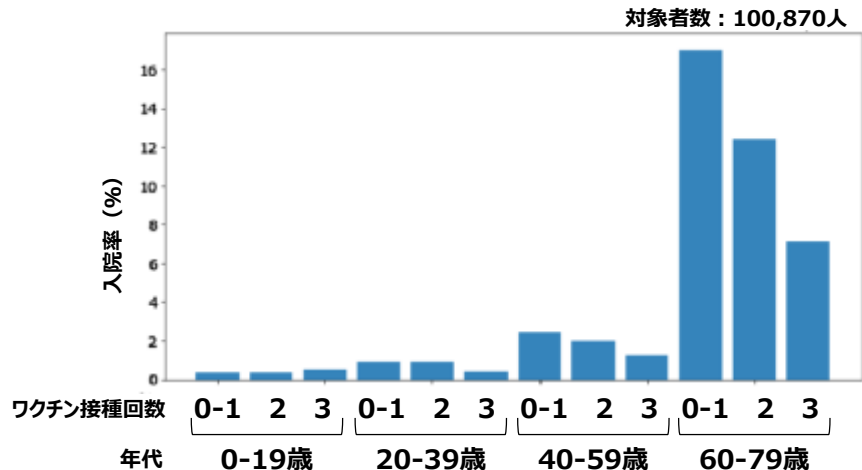
1 ワクチンを接種した方の新型コロナウイルス感染症の死亡割合は低かった。



2 ワクチンを接種した方の新型コロナウイルス感染症の療養期間は短かった。



3 新型コロナウイルス陽性者のうち、ワクチンを接種した方の入院率は低かった。



解説



【分析対象】

- 2022年1月から2022年6月までの道立保健所管内の陽性者情報を集計しています。

【グラフ1】

- 死亡した陽性者の割合は、ワクチン接種者(2回、3回)で明らかに低く、例えば、「80歳以上」では、「0-1」回接種者の死亡割合は約7%ですが、「3」回接種者では約2%でした。(調査期間中に39歳以下で死亡した陽性者はありません。)

【グラフ2】

- 「療養期間の分析」では、発症(無症状の場合は、報告日)から自宅や宿泊療養施設、病院で療養を終えた日までの日数を比較しました。全ての年代で、ワクチン接種者(2回、3回)は、療養期間が短くなっていました。例えば、「60-79」歳では、「0-1」回接種の平均療養日数約18日に比べて「3」回接種では約13日でした。また、3回目接種の効果は年齢が高いほど明らかでした。
- ワクチン接種者(2回、3回)では、棒グラフに示したデータのバラツキ(いわゆる「ひげ」)が狭くなっており、ワクチン接種者に症状悪化が少ないことと一致していました。

【グラフ3】

- 「60-79」歳以下の年代では、ワクチン接種者(2回、3回)の入院率が低くなっていました。例えば、「60-79」歳では、「0-1」回接種の入院率は約17%ですが、「3」回接種では約7%と低くなっていました。80歳以上では、悪化のリスクを考慮して入院する方が多くなりワクチン接種による入院率の低減は明らかではありませんでしたが、グラフ2のようにワクチン接種者(2回、3回)の療養期間が短縮していました。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

6 3回目接種

- 5月25日の政省令改正で、3回目接種については、初回接種の終了後からの接種間隔が6か月から5か月に変更。
- 若年層の3回目接種を加速するため、道内大学生・専門学校生のニーズに即した情報にダイレクトにアクセスできる『学生向けワクチンポータルサイト』を道庁ホームページ内に設置。
- また、道内各大学の協力を得て、大学生と専門家を交えた、新型コロナウイルス関連の座談会を開催し、そこで聞き取った若年者の感染症やワクチンに対する考えや意見、またどのような情報に影響を受けているのか等を今後の若年層向けの情報発信や周知に活かしながら、接種の促進に取り組む。
- 3回目接種により感染予防や重症化予防の効果が回復するとされていることから、高齢者のほか、これまで、3回目接種を受けていない方への情報提供や接種希望者への対応などについて、市町村と連携し適切に取り組むとともに、北海道ワクチン接種センターも活用し、人の移動や世代間交流が活発となる時期となる夏休みやお盆シーズンに向けた接種率向上にも取り組む。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

7 4回目接種

- 4回目接種については、すべての市町村において、接種計画の策定が進み、5月25日から順次接種が開始されている。基礎疾患のある方に対する接種券の発行手続きの周知について、市町村と協力して取り組んでいる。

区 分	内 容
接 種 の 目 的	新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化予防を目的
接 種 対 象 者	①60歳以上の方 ②18歳以上60歳未満の者のうち、基礎疾患を有する方 ③その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ※国は接種対象者の範囲について、引き続き情報を収集しながら検討を行っていくこととしている。
接 種 の 時 期	令和4年5月25日(水)～9月30日(金)
使用するワクチン	1回目～3回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、m-RNAワクチンを使用 ※4回目接種の対象者全員が接種できる量の配分を予定
接 種 間 隔	3回目接種からの間隔は、少なくとも5か月経過した後

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

8 北海道ワクチン接種センターの接種体制①

使用ワクチン	ノババックスワクチン			モデルナワクチン	
	1回目	2回目	3回目	3回目	4回目
接種対象者	道内の市町村が発行した1～3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方			道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方	道内の市町村が発行した4回目用の接種券をお持ちの、 ①60歳以上の方 ②18歳以上60歳未満の者のうち、基礎疾患を有する方 ③その他重症化リスクが高いと医師が認める方
実施期間	令和4年6月5日(日)から9月25日(日)までの毎週日曜日(17日間)			令和4年7月2日(土)～8月27日(土)までの毎週土曜日と祝日(10日間) ※8月6日(土)を除く	
接種体制	1日当たり、120名 (7月24日～8月28日の6日間は、240名に拡大)			1日当たり、360名	
	医療従事者：北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等				
予約受付	WEB：道のホームページからアクセス 電話：050-3851-0181(専用コールセンター)				

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

9 北海道ワクチン接種センターの接種体制②

<ノババックスワクチン>

○ 道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」で、6月5日から9月25日まで毎週日曜日に、ノババックスワクチンの接種を実施。7月31日分までの予約は、予約枠を満たしている状況。

8月7日(日)の接種分は、7月19日(火)から予約を受付。

○ なお、市町村でのノババックスワクチンの接種は、北見市、函館市において接種が開始され、今後、旭川市、苫小牧市、釧路市で接種が開始される予定。

<モデルナワクチン>

○ 7月から8月にかけて道内の接種対象者がピークになると見込まれる中、4回目接種の促進に向け、7月2日から8月27日までの土曜・祝日に、4回目接種を実施。

6月24日(金)から予約を受付中であり、全日程について、空きがある状況。

※ 3回目接種を希望される方も接種可。

保健・医療提供体制の再確認について

〈別紙〉

区分	主な対応
保健所の体制	◆感染拡大時に備え、会計年度任用職員の確保や振興局内の応援体制の整備といった人材の確保のほか、ICTの活用や業務の外部委託による効率化について、保健所・指揮室連絡会議において情報共有済
自宅療養者への対応	◆自宅療養者が安心して療養できるよう、民間や医療機関への委託を進めている健康観察業務の充実・強化やパルスオキシメーターや自宅療養セットの迅速な配布について、事業者と調整を進めるとともに、適切な運用がなされるよう保健所・指揮室連絡会議において情報共有済
宿泊療養施設の運用	◆感染拡大時にも運営に支障が生じないよう、施設の円滑な運用や契約終了後の延長など、運営体制の確保について、委託業者と協議済
病床の確保	◆感染拡大時にも病床の稼働に支障が生じないよう、フェーズの切り替えも含め、円滑な病床確保や体制整備について、医療機関に依頼するとともに、保健所・指揮室連絡会議において情報共有済
検査能力の拡充	◆お盆期間中の検査需要増に対応できるよう、無料検査登録事業所に対し、必要な検査キットの早期発注について依頼するとともに、空港や主要駅周辺の体制確保や効果的な広報に向けた事業者との調整を開始

事業者等の再確認について

区分	主な対応
第三者認証店等	◆約18,000の認証店に対し、認証基準に沿った感染防止対策の再確認などについて依頼するとともに、その他の飲食店等に対しても感染防止対策の徹底や、認証取得の検討について依頼済
観光事業者	◆どうみん割事務局等を通じ、約1,500の観光事業者に感染防止対策チェック項目の再確認について依頼するとともに、観光客に対する新しい旅のエチケットの周知についても依頼済
その他の事業者	◆道商連や道経連などの経済団体を通じ、約2,500の地域の関係する事業者等へ感染防止対策の徹底について、改めて依頼済